

(様式6, 2頁目)

参考論文

1. Preferred PaceとSlow Paceでタッピング課題を行う時の前頭前野の活動
—機能的近赤外分光法(fNIRS)を用いて—
ぐんま作業療法研究 16: 3-11, 2014
下田佳央莉、勝山しおり、土屋謙仕、李 範爽、外里富佐江
2. Preferred Pace Tapping Activates the Frontal Lobe
(Preferred Paceのタッピングは前頭葉を賦活させる)
The KITAKANTO Medical Journal 62: 271-276, 2012
Shimoda K, Katsuyama S, Lee B, Kamegaya T, Kururi N, Ando N, Iwai T,
Hirano D, Tozato F

(様式6, 3頁目)

最終試験の結果の要旨

前頭前野の賦活の意義とリハビリテーションへの応用について、fNIRSの利点と欠点について、および運動リズムの形成に關与する脳内構造について

試問し満足すべき解答を得た。

平成27年1月8日

試験委員

群馬大学大学院教授

リハビリテーション学講座

山崎 恒夫

印

群馬大学大学院教授

リハビリテーション学講座

白田 滋

印

群馬大学大学院教授

リハビリテーション学講座

山口 晴保

印

試験科目

前頭前野の賦活の意義とリハビリテーションへの応用について

否

fNIRSの利点と欠点について

否

運動リズムの形成に關与する脳内構造について

否